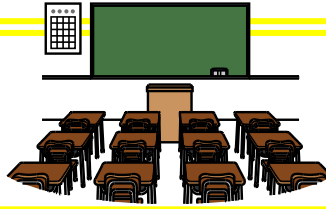


# かがやき



水戸市立梅が丘小学校  
第6学年だより No. 2  
令和5年4月14日

## 6年生、「梅式家庭学習」をスタートします！

保護者の皆様には、日頃より本校の教育にご理解ご協力をいただきましてありがとうございます。

新学年がスタートして1週間がたちました。新しい係や当番、委員会活動が決まり、学校生活が少しずつ動き出しています。子どもたちは朝、交代で1年生の教室に行き、ランドセルを片付ける手伝い、読み聞かせや紙芝居などを行っています。様子を見てみると、1年生に優しく声をかけたり、「どの紙芝居にする？」などと相談していたりして微笑ましいです。また、先日13日には、第1回目の委員会活動が行われ、「委員長に立候補しました！」と生き生きとした表情で話してくれた児童もいて、頼もしく感じました。これから一年間、梅が丘小のさまざまな行事に関わり、6年生の子どもたちが中心となって活躍してくれる気がいたしました。

さて、今回は学習のことについてお知らせいたします。

昨年度、梅が丘小学校では、高学年から少しずつ「梅式家庭学習(自主学習のすすめ)」を取り入れてきました。そのため、今年度の6年生は、4月始めから自主学習に力を入れていこうと思います。学校から「与えられた学習」をこなすだけではなく、自分自身で得意不得意を見極め、目標や課題を設定して計画し、実践、振り返りをして新たな課題を見だし、また取り組む。このような「自ら学ぶ習慣」をこの一年間で確実に身に付けさせたいと考えています。

4月17日(月)から、次のような取組を行っていきますのでご協力をお願いいたします。

### 1 家庭学習カードについて

#### ・カードの提出 → 「Google カレンダー」を活用

①学校に登校した後、1日の家庭学習の予定を立てる。

→自宅で計画してもかまいません。後々、1日ではなく1週間の予定を立てられるようになると思います。

→国語：ピンク 算数：水色 理科：黄色 社会：茶色 英語：緑

図工・音楽・体育・家庭・その他雑学的なこと：グレー

のように色付けをすると、取り組んでいる教科の様子が分かりやすいです。

②担任が、子どもの学習予定をタブレット PC にて確認する。

担任の PC には、クラス全員の学習予定が一覧となって確認することができます。

(今、〇〇さんは、社会の復習をしているな、など。実際に学習したことは、次の日に自主学習ノートを見て確認します。)

③保護者の方は、お子さんの Google カレンダーを定期的にご覧になり、取組の様子を確認してください。また、あわせて自主学習ノートにどのくらい書き込んでいるか、ご確認ください。

### 2 自主学習ノートについて

〈内容〉 ● 「ばっちりメニュー」

国語(漢字含む)・算数・理科・社会・英語について学習する。

● 「わくわくメニュー」

音楽・図工・体育・家庭・その他(自分の好きなこと、興味のあることなど)

内容については、別紙参照。

・「ばっちりメニュー」や「わくわくメニュー」を1週間でのどのくらい取り組むかについては、各クラスによって異なります。

### 3 漢字や計算ドリルについて

・漢字ドリル → 「漢字学習ノート」、その付録「かんたん漢字デジドリル」の活用

今年度は、通常のドリルではなく「漢字学習ノート」を使用します。

学校では、国語の授業(単元の始め)の中で新出漢字の指導をします。とめ・はね・はらいや、送り仮名等、気を付けることを話し、「漢字学習ノート」に練習をします。家庭では、自主学習ノートに練習をするよう、学校でも話をしますが、お家の方もときどき様子を見てください。(個人で漢字ノートを購入し、漢字のマス目が入っているノートに練習してきている子もいます。)

「漢字学習ノート」付録の「かんたん漢字デジドリル」は、タブレットを使って学んだことを復習できる教材です。自動採点なので児童自身で定着度を確認することができます。(「かんたん漢字デジドリル」は、申し込み後数日かかるので4月17日からは利用できません。利用開始日を連絡帳でお知らせいたします。)

#### ・計算ドリル → 練習プリントの活用

単元ごとに「練習プリント」を配付します。基本となる教科書のえんぴつ問題、単元ごとに配付する練習プリントを中心に指導していきます。大事なことは、間違った問題をそのままにしないこと、と子どもたちには話しています。ですから、間違った問題を自主学習でもう一度解くように伝えています。

#### 4 その他の教科について

- ・「**デジタマ(国語)(算数)(理科)(社会)**」の活用 ← 教科書の学習順に学べるタブレットドリル  
ドリルでは、漢字と計算のみですが、今年度は、社会や理科についても、また、漢字や計算のみではなく、国語全般や算数全般についても学習していきたいと考えています。「デジタマ」は、子どもたちが目次画面で問題を選択すると、問題がスタートし、自動採点されます。

- ・「**デジタル学力テスト(CBT) 国語・算数・理科・社会**」の活用

子どもたちの定着度をはかる CBT 型テストです。年2回(実施時間は20分)。

「5年のたしかめ」と「6年のまとめ」です。フォロー問題として、テストの結果を基に個別に出題されるので、それも活用したいと考えています。



これらのことを行うため、タブレット PC を必要なときに持ち帰ります。

#### 5 タブレット PC の持ち帰りについて

- ・自主学習で必要なときに持ち帰ります。教科書の QR コードやドリルパーク、「デジドリル」などを上手に活用できることを期待しています。自宅の PC を使用する場合は、持ち帰らなくても構いません。その場合は、個人カードを持ち帰ります。自宅に持ち帰った場合は、充電をしてきてください。

#### 〈保護者の方へお願い〉

タブレット PC の持ち帰りに関しては、自主学習(調べ学習)を行う上でも有効ですが、気を付けなければならない点があります。

##### ① 使用する時間を決める

「Meet」「Google スライドの中でのチャット」等を活用して、夜何時でも友達とチャットで会話ができます。画面を通じて友達の顔を見ながらの会話も可能です。スマホと同じです。自主学習を行うためにタブレット PC を持ち帰るわけですから、ご家庭でも使用する目的について話し合ってくださいと思います。

また、使用しているときはときどき様子を見たり、「夜の8時には、親に預ける」など、時間を決めたりしておくと思います。

##### ② ユーチューブなどは制限がありますが...

インターネットでいろいろな調べ学習ができますが、ユーチューブなど一部制限がかかっています。教育上必要のないものなどは、つながらないようになっていきます。しかし、①に記載したように、どのように使用しているか、保護者の方もときどき様子を見ていただきたいと思います。

##### ③ 友達と同時に作業ができる良さがある

①でチャットについて記載しましたが、「Google スライド」など、友達と同時に作業ができる(同時にスライドを作成できる)都合上、作業中にチャットで友達と相談することができます。その場合のチャットは構わないと思います。

※「Google スライド」とは、「パワーポイント」のようなものです。発表するときに作成します。ただし、「Google スライド」は授業で使用する人が多いので、自宅で作成することはあまりありません。

**子どもたちが自主的に学習していくことができるよう、ご協力をよろしくお願いいたします。**